

Theme

05 Lifestyle

不条理を チャンスを する秘訣

男たちよ目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

東

京・新宿に「ル・ブラン」というオーセンティックバーがあります。真夏でも麻のスーツを着て、マティニーのお供に葉巻を嗜む客がカウンターを占めます。マスターの本多啓彰氏はどんな映画の話題を振っても期待を上回る答えを返し、店主がほかの客と話している間は、セカンドの上村拓氏が端正な笑顔で何気ない会話をも心弾むものにしてくれます。正統派バリエーション文化の発信地として、今年、20周年を迎えました。

ところが、コロナ禍による度々の緊急事態宣言により、休業を余儀なくされる日が続きます。4度目の宣言に入ると、またしばらく伺えないからとバーを訪れたところ、濃密な空気がいつそう艶々と深まっていることに気づきました。

原因は迫力のアートにありました。壁には「ゴッドファーザー」の登場人物をシガーリングによって「描き出した」アートがずらり。シガーリングを貼りつくしただけの「アート」なら見たことはありませんが、それを使って人物を描きだすとは。油絵のような光沢と陰影をもつ完成度の高さにも驚きます。

聞けば、休業を強いられている間、何もすることがなくなった上村氏が、「捨てられてしまう」シガーリングを利用してこつこつ削り上げたそう。アイデアは本多氏。このようなアートを創るのは初めてだそうですが、建築学で修士の学位をもつ上村氏には秘めた素養があったのでしよう。リングを重ねて切り貼りしながら、世界でも類を見ない精緻なシガーリングアートを削り上げました。常連客からも続々と注文が入り、アーティストとしても生きていけそうな勢いです。

休業協力金も遅れがちで先行き不安な状況でも、パーテンダーをやめない理由を彼はこのように語ります。「バーで語らなから素敵な時間を過ごせば過ごすほど、人と人とのつながりが強くなっていくのを感じます。そこに大きな価値と喜びを感じるの、やめる理由が見当たらない」

仕事を奪われる不条理を嘆かず、その間、集中力を別のところに振り向けて秘めた能力を開花させたパーテンダーは、幸運だったのかもしれない。でもその幸運をもたらしたのは、彼が周囲の人とのつながりを大切にしてきた長年の地道な仕事の日々だった……というシンプルな事実。「目覚めなさい」。身近にあった「捨てられてしまうもの」に別の価値を与えることができたのも、仕事にまつわるものへの愛ゆえですね。



カトリーヌ10世
Catherine X

Profile
グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は
人間観察とコスプレ。
好きな飲み物はモンラッシェ。
日本ではほとんど
知られていない、ある小国の
女王とのウワサも!?

